

## 今週の見頃写真

### あなたはだあれ？ : 蛇の抜け殻同定方法

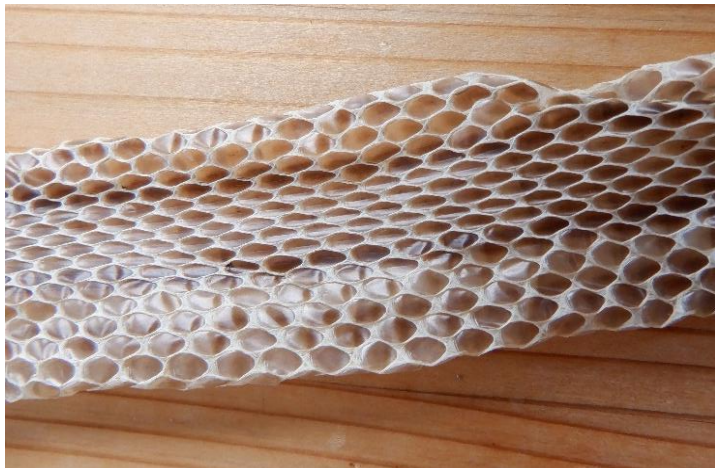
有峰森林文化村  
令和3年(2021)9月11日編集  
報告: 田中指導員  
編集: 田中指導員

8月30日、雨上がりのカラリと晴れた日。  
旧有峰ハウス横にて、霜鳥指導員が真新しい蛇の抜け殻を見つけました。



← 抜け殻の長さは95cm →  
脱皮する時に鱗と鱗の間が伸びて2割ほど長くなっているため、脱皮したヘビは75~80cmと考えられます。

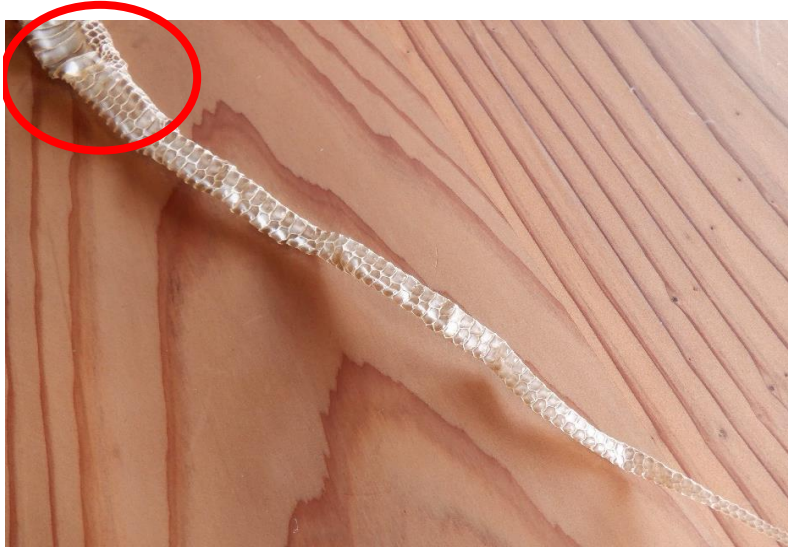
ピカピカ目も綺麗に剥けています。  
目の部分が窪んでいるのは、たとえばソーセージの包みを剥くように、脱皮すると裏表が反転するのです。



抜け殻から体鱗列と腹板の数を調べると、ヘビの種類が特定できます。  
ヘビは個体差も大きく模様も変異型があるので、ウロコによる種類の判定は有効な方法です。

今回採取した抜け殻のウロコを数えると、体鱗列は19枚でした。  
このウロコの数シマヘビの体鱗列の数に一致しますが、体鱗列数が19の種類ヘビが数種類いますので腹板や尾下板の数で調べます。

腹板の数は脊椎骨の数とほぼ同じで、これによってその数の範囲は決まっています。  
一つ一つ丁寧に数えてみると…腹板195枚でした。

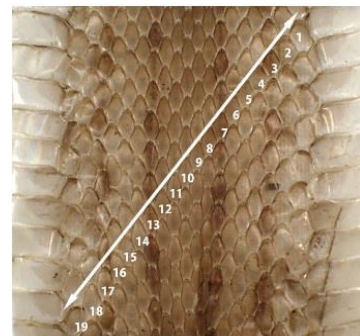


最後に尾下板を数えます。  
 ヘビのお尻の穴がわかれば尾がわかります。  
 ヘビのお尻の穴は「総排泄孔」と言い交尾器官も兼ねています。  
 シマヘビは総排泄孔から後ろの腹板が2列になっているのですぐにわかります。  
 尾下板86枚で、種類はシマヘビに確定です!

ヘビの種類は、

- ① 抜け殻の長さ
  - ② 腹側のウロコ「腹板」
  - ③ 背側の斜め方向にキレイに並んだウロコ「体鱗」
  - ④ お尻の穴より後ろの「尾下板」の数で判断できます。
- 胴体をぐるりととりまく体鱗の数を「体鱗列」と言い、これらはヘビの種類によって範囲が決まっているとのことです。

こちらのサイトを参考にしました、<https://csnaka.com/>



### 体鱗列

種類	大きさ	体鱗
タカチホヘビ	20-60cm	体鱗 23 列
アオダイショウ	40-200cm	体鱗 23-25 列
シマヘビ	40-150cm	体鱗 19 列
ジムグリ	40-120cm	体鱗 21 列
シロマダラ	30-70cm	体鱗 17 列
ヒバカリ	30-60cm	体鱗 19 列
ヤマカガシ	40-150cm	体鱗 19 列
ニホンマムシ	40-60cm	体鱗 19-25 列

体鱗数が 19 列あるものが多くいるので、その場合は、腹板や尾下板数で調べる。

シマヘビ	腹板 195-215 枚	尾下板 80-95 枚
ヒバカリ	腹板 145 枚-153 枚	尾下板 60-80 枚
ヤマカガシ	腹板 150 枚-170 枚	尾下板 55-85 枚

©Copyright2021 CSラボはなかなかだす。All Rights Reserved.



かわいいよ♪